

与良川通信

～ 第29号～

令和4年 7月27日発行



えさを探すセラとひなた

工事名：栃木南部農業水利事業
与良川統合排水機場建設工事
発注者：農林水産省 関東農政局
受注者：前田建設工業株式会社

「安全」「環境」「品質」を最優先して作業を行ってまいります。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、何卒宜しくお願いします。
ご意見、ご感想がありましたら、お気軽にお声掛けください。

令和4年 6月末現在
工事進捗率：80.8%

【文責】
田野 伸午



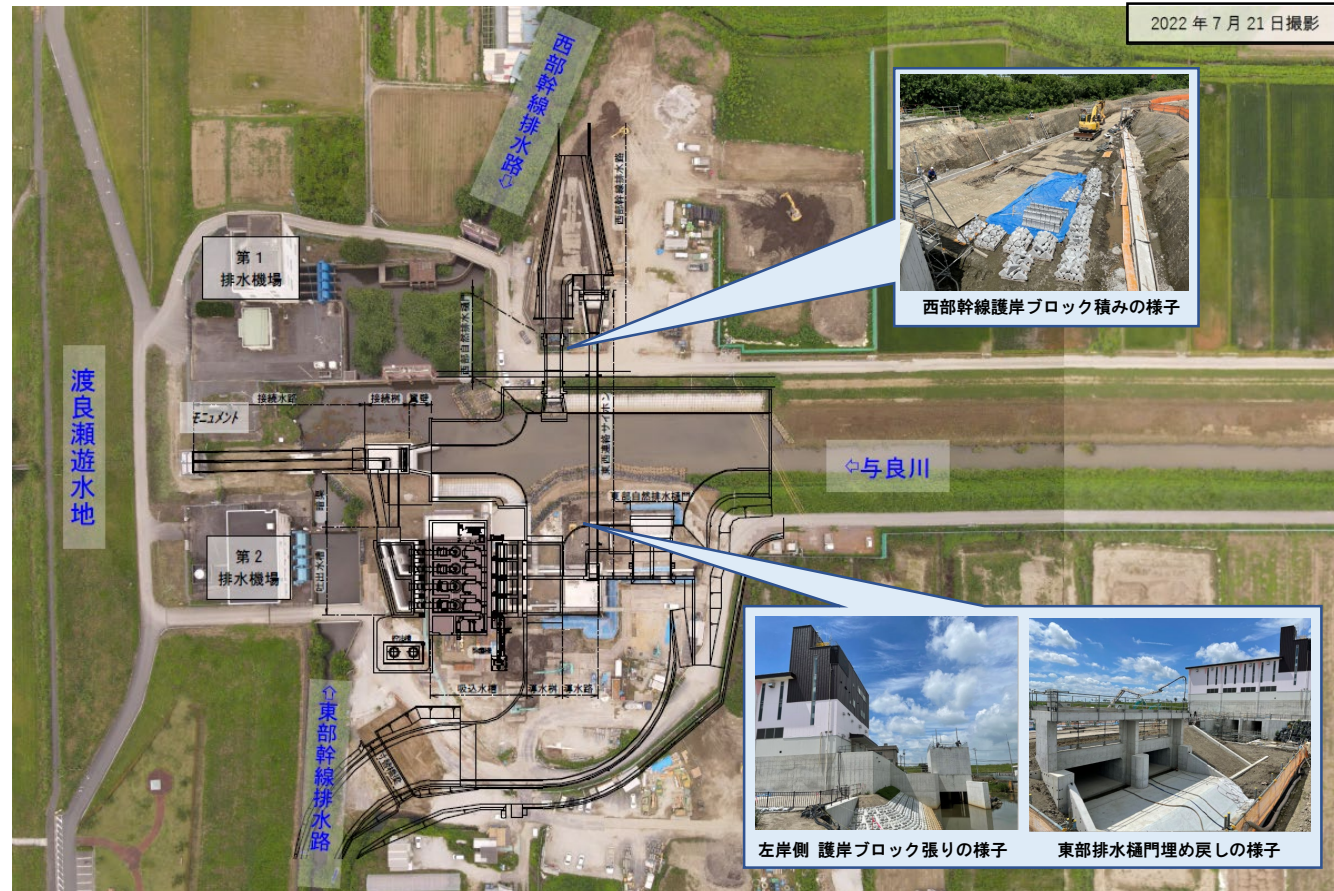
はじめに

みなさん、お待ちかねの夏休みがやってきました！
レジャー真っ盛りですが、楽しさの中にも危険は常に潜んでいます。
海や川での水難事故に、運転時の交通事故、感染症や熱中症にも備えなくてはなりません。
日ごろから「K(危険)Y(予知)」を意識して、めいっぱいこの夏を満喫しましょう！



これからの施工について

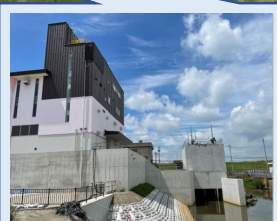
4年目出水期施工も順調に進んでおり、右岸側の西部幹線は護岸のブロック積みが始まりました。
左岸側においては東部排水樋門の埋め戻し～護岸のブロック張りを、
遊水池部分の掘削も始まっております。



2022年7月21日撮影



西部幹線護岸ブロック積みの様子



左岸側 護岸ブロック張りの様子



東部排水樋門埋め戻しの様子

6/27 (月) 下生井小学校現場見学会

昨年引き続き下生井小学校の4年生(8名)が現場見学に訪れました。



昨年は管理棟の鉄骨組立中でしたが、今回はきれいに仕上がった内装を見ることができ、
屋上からの広大な眺めを堪能しながら、説明に耳を傾けていました。



現場ではじめる「ワイズユース」

先月より熱中症対策として、地元産のヨシズを使用した
休憩所を新たに設置しました。
渡良瀬遊水地には良質なヨシが自生しており、最盛期では
周辺100件以上の農家がヨシズづくりを副業としていました。
しかし、ここ数年では安価な外国産やビニール製品におかれて、
現在では松本八十二さんが唯一の生産者となりました。
ラムサール条約では「ワイズユース(賢明な利用)」を
提唱しており、当作業所も地元産を盛り立ててまいります。

ワイズユースとは

健全な湿地から得られる恵みを、生態系に配慮して持続可能な形で利用することです。
漁業や農業などの産業での利用はもちろんのこと、憩いや遊びなどの場としての
文化的な利用も当てはまります。

参照：環境省 HP <https://www.env.go.jp/nature/ramsar/conv/>



ヨシズ生産者の
松本 八十二さん
(栃木市藤岡町在住)